

## 第2章

# 池田市の子どもを取り巻く環境

---

## 第2章 池田市の子どもを取り巻く環境



### 第1節 人口・世帯の動向

#### 1. 人口の推移

平成25年（2013年）10月1日現在、わが国の人口は1億2,730万人で、前年同月の1億2,752万人に比べやや減少しています。また、大阪府は8,860,280人（平成25年10月1日現在、推計値）で、前年10月1日現在の8,863,324人（推計値）に比べ3,044人減少しています。これに対し、本市の総人口の推移をみると、やや減少傾向を示しており、平成25年（2013年）10月1日現在は103,066人で144人の減少となっています。

人口動態をみると、昭和60年（1985年）から出生数が死亡数を上回る自然増が続いていますが、増加数は近年少なくなっています。社会動態については、転出数が転入数を上回る社会減が続いています。（平成24年は外国人を含む数としたため、転入のほうが多くなっている。）

#### ●人口の推移



各年10月1日現在 資料：住民基本台帳人口

#### ●人口動態

年	自然動態			社会動態			外国人 増減	純増減
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減		
平成20年	897	758	139	5,114	5,376	-262	9	-114
平成21年	881	738	143	4,899	4,800	99	-19	223
平成22年	883	782	101	4,777	4,924	-147	-77	-123
平成23年	865	777	88	4,674	5,344	-670	-56	-638
平成24年	852	848	4	* 6,091	4,912	1,179	-	1,183

各年1月1日～12月31日 資料：市民生活部総合窓口課

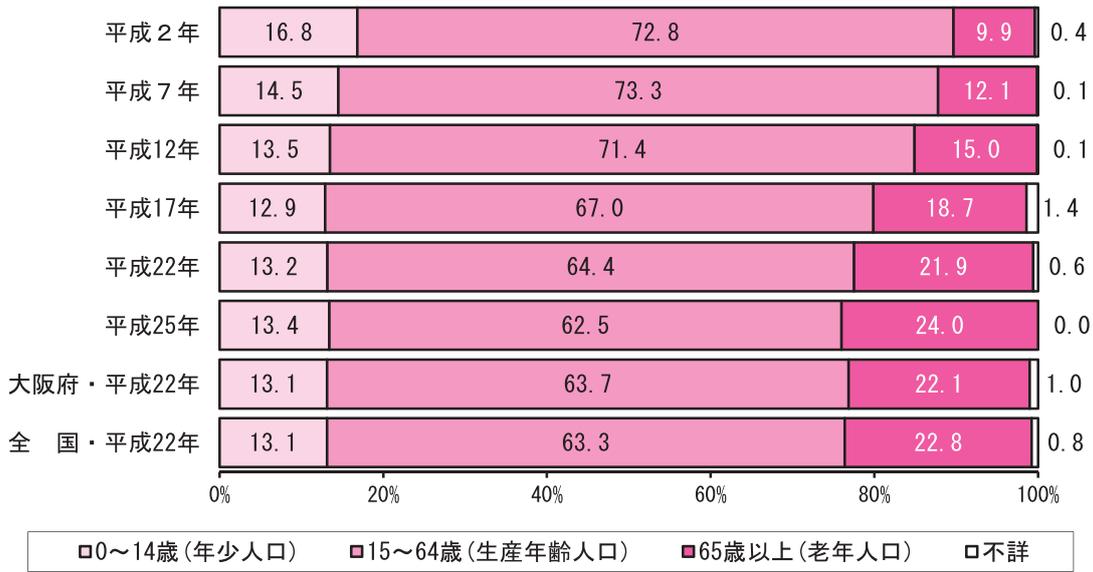
\*：平成24年に「外国人登録法」が廃止されたことに伴い、市内在住の外国人を転入に含めて計上

年齢構成別に人口の推移をみると、0～14歳の年少人口の割合は減少傾向にあるのに対し、65歳以上の老年人口は年々増加しています。年齢構造において、少子・高齢化が進行してい

ることが顕著に表れています。

平成22年（2010年）における人口の年齢別構成比率を大阪府・全国と比較すると、年少人口は、府・全国とほぼ同程度で、65歳以上の老年人口は、府・全国に比べやや低くなっています。

●年齢構成別人口の推移



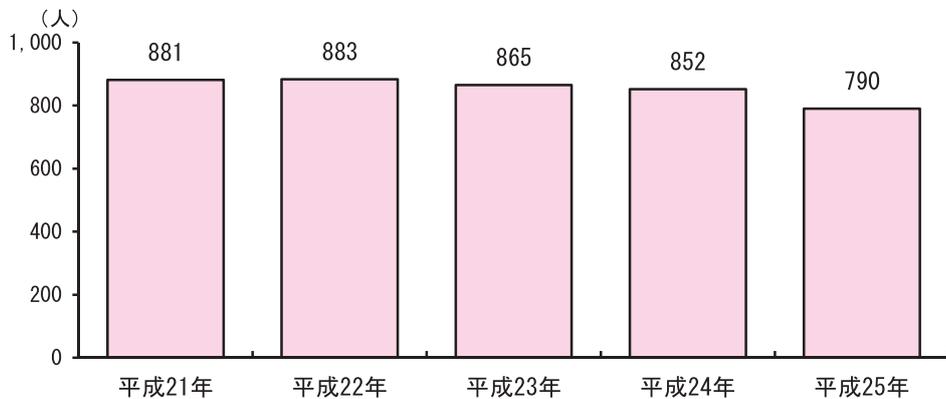
各年10月1日現在 資料：平成22年までは国勢調査、平成25年は住民基本台帳人口

※百分率は小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%を上下することがある。以下同様。

2. 出生の動向

出生の動向をみると、出生数は平成23年（2011年）以降減少傾向にあり、平成25年（2013年）は790人となっています。

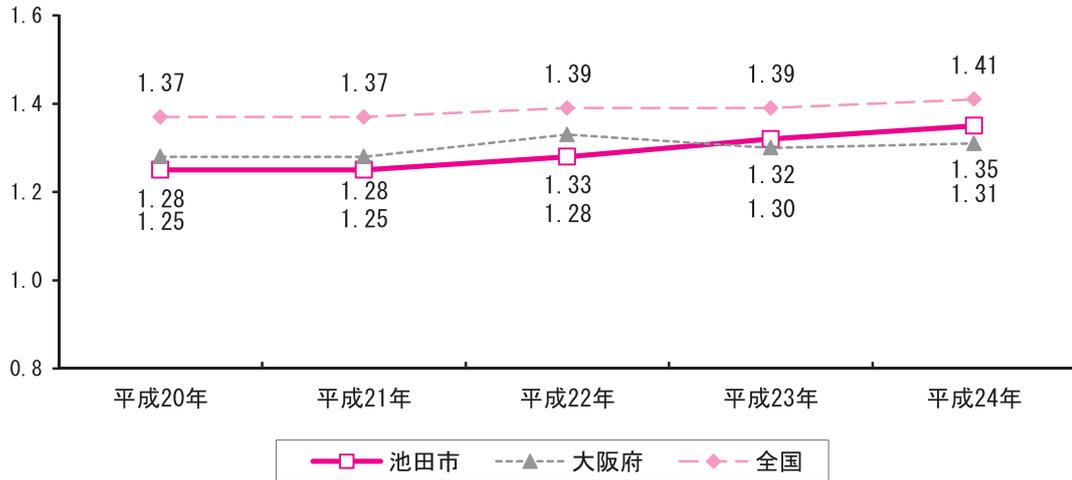
●出生数の推移



各年4月～3月 資料：市民生活部総合窓口課

一人の女性が一生に産む子どもの数を示す合計特殊出生率（※）は、平成22年（2010年）までは大阪府、全国より低い数値でしたが、微増ながら増加傾向にあります。平成23年（2011年）には大阪府を上回り、平成24年（2012年）には1.35となりました。しかし依然、全国を下回る低い数値となっています。

● 合計特殊出生率の推移



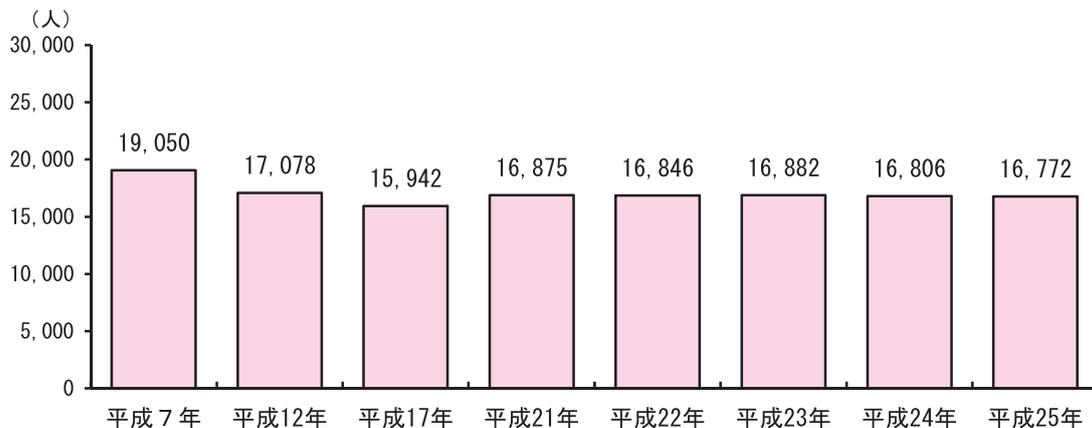
※合計特殊出生率は人口動態統計をもとに算出

※合計特殊出生率：ある年の年齢別出生率が変わらないという仮定のもとで15歳から49歳までの女性が平均何人子どもを産むかの推計値

### 3. 児童人口の推移

本市の児童人口（18歳未満）は、出生数の低下に伴い減少してきましたが、平成21年以降はほぼ横ばいで推移しており、平成25年は16,772人となっています。

● 児童人口（18歳未満）の推移



各年10月1日現在 資料：平成17年までは国勢調査  
平成21年以降は住民基本台帳人口

## 4. 将来推計人口

将来の推計人口をみると、本計画の目標年次である平成31年（2019年）の総人口は、平成26年（2014年）に比べわずかに減少するものと見込まれます。また、少子化が進展していることから、就学前児童、小学校児童とも減少するものと思われます。年齢3区分別でみると、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向にあるのに対し、老年人口（65歳以上）は増加するものと見込んでいます。

## ●推計人口

(人)

		実績			推計						
		平成26年度			平成27年度			平成31年度			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
総人口	全体	49,309	53,271	102,580	49,051	53,349	102,400	47,869	52,847	100,716	
	池田	24,768	27,125	51,893	24,862	27,367	52,229	24,363	27,292	51,655	
	石橋	24,541	26,146	50,687	24,189	25,982	50,171	23,506	25,555	49,061	
就学前児童	0歳	全体	384	373	757	389	365	754	340	318	658
		池田	185	202	387	198	192	390	171	166	337
		石橋	199	171	370	191	173	364	169	152	321
	1歳	全体	425	440	865	407	394	801	354	344	698
		池田	214	246	460	208	208	416	180	181	361
		石橋	211	194	405	199	186	385	174	163	337
	2歳	全体	439	401	840	430	429	859	372	355	727
		池田	209	207	416	221	244	465	190	185	375
		石橋	230	194	424	209	185	394	182	170	352
	3歳	全体	466	438	904	434	412	846	383	369	752
		池田	243	214	457	215	213	428	200	193	393
		石橋	223	224	447	219	199	418	183	176	359
	4歳	全体	457	432	889	470	442	912	400	384	784
		池田	225	203	428	244	223	467	202	204	406
		石橋	232	229	461	226	219	445	198	180	378
5歳	全体	464	414	878	474	430	904	417	396	813	
	池田	227	215	442	229	206	435	212	208	420	
	石橋	237	199	436	245	224	469	205	188	393	
小計	全体	2,635	2,498	5,133	2,604	2,472	5,076	2,266	2,166	4,432	
	池田	1,303	1,287	2,590	1,315	1,286	2,601	1,155	1,137	2,292	
	石橋	1,332	1,211	2,543	1,289	1,186	2,475	1,111	1,029	2,140	
小学校児童	6歳	全体	491	478	969	468	409	877	436	428	864
		池田	252	234	486	224	208	432	216	243	459
		石橋	239	244	483	244	201	445	220	185	405
	7歳	全体	451	445	896	487	467	954	440	406	846
		池田	224	231	455	252	232	484	208	210	418
		石橋	227	214	441	235	235	470	232	196	428
	8歳	全体	476	408	884	447	434	881	471	434	905
		池田	245	224	469	227	226	453	244	217	461
		石橋	231	184	415	220	208	428	227	217	444
	9歳	全体	472	460	932	466	417	883	468	422	890
		池田	228	239	467	244	231	475	224	204	428
		石橋	244	221	465	222	186	408	244	218	462
	10歳	全体	508	487	995	468	459	927	460	404	864
		池田	269	260	529	235	238	473	223	208	431
		石橋	239	227	466	233	221	454	237	196	433
11歳	全体	469	455	924	512	484	996	487	469	956	
	池田	240	243	483	272	262	534	255	237	492	
	石橋	229	212	441	240	222	462	232	232	464	
小計	全体	2,867	2,733	5,600	2,848	2,670	5,518	2,762	2,563	5,325	
	池田	1,458	1,431	2,889	1,454	1,397	2,851	1,370	1,319	2,689	
	石橋	1,409	1,302	2,711	1,394	1,273	2,667	1,392	1,244	2,636	
合計	全体	5,502	5,231	10,733	5,452	5,142	10,594	5,028	4,729	9,757	
	池田	2,761	2,718	5,479	2,769	2,683	5,452	2,525	2,456	4,981	
	石橋	2,741	2,513	5,254	2,683	2,459	5,142	2,503	2,273	4,776	

## 【年齢3区分別】

		実績			推計					
		平成26年度			平成27年度			平成31年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
年少人口 (～14歳)	全体	7,060	6,649	13,709	6,975	6,567	13,542	6,430	6,053	12,483
	池田	3,577	3,448	7,025	3,561	3,440	7,001	3,242	3,162	6,404
	石橋	3,483	3,201	6,684	3,414	3,127	6,541	3,188	2,891	6,079
生産年齢 人口 (15～64歳)	全体	31,356	32,196	63,552	30,810	31,825	62,635	29,647	30,898	60,545
	池田	15,704	16,416	32,120	15,574	16,327	31,901	15,065	15,912	30,977
	石橋	15,652	15,780	31,432	15,236	15,498	30,734	14,582	14,986	29,568
老年人口 (65歳以上)	全体	10,893	14,426	25,319	11,266	14,957	26,223	11,792	15,896	27,688
	池田	5,487	7,261	12,748	5,727	7,600	13,327	6,056	8,218	14,274
	石橋	5,406	7,165	12,571	5,539	7,357	12,896	5,736	7,678	13,414
合計	全体	49,309	53,271	102,580	49,051	53,349	102,400	47,869	52,847	100,716
	池田	24,768	27,125	51,893	24,862	27,367	52,229	24,363	27,292	51,655
	石橋	24,541	26,146	50,687	24,189	25,982	50,171	23,506	25,555	49,061

※実際人口は、平成26年4月1日現在の住民基本台帳人口

## (参考) 将来推計人口

本市の平成27年(2015年)以降の将来人口は、住民基本台帳および外国人登録者の各人口の合計値を用いて、平成21～25年の4月1日現在の人口を基準に、コーホート要因法<sup>(※)</sup>により、平成27年(2015年)以降の将来人口を推計しました。

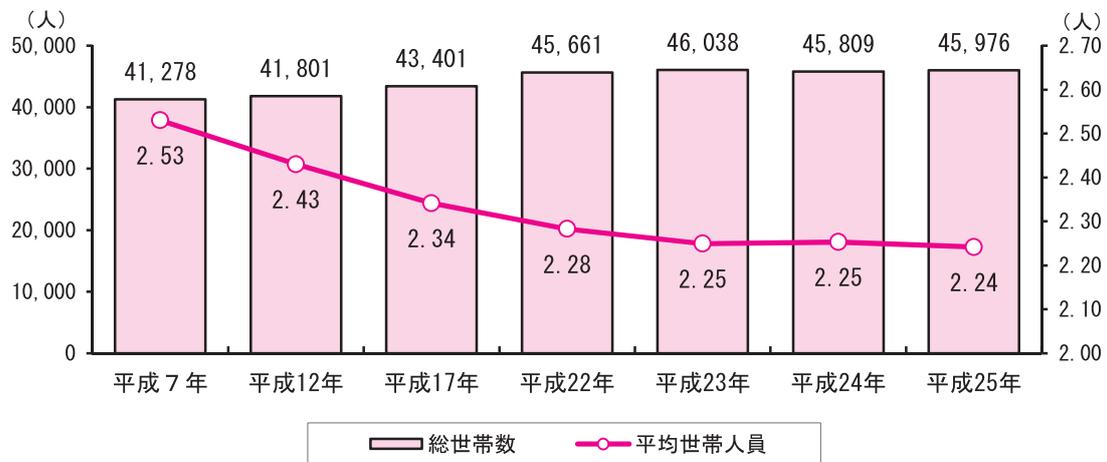
<sup>(※)</sup> コーホート要因法……コーホートとは、同年(または同期間)に出生した集団のことをいい、コーホート要因法とは、その集団ごとの時間変化(出生、死亡、移動)を軸に人口の変化をとらえる方法をいいます。

## 5. 世帯の動向

本市の世帯数は、平成7年（1995年）には40,000世帯を超え、その後も増加していましたが、平成23年（2011年）以降は46,000世帯前後で推移しています。一方、平均世帯人員は年々減少傾向にあり、平成7年の2.53人から平成25年（2013年）は2.24人で0.29人減少し、家族の少人数化が進んでいます。

世帯構成の動きをみると、単身世帯、夫婦のみの世帯は年々増加しているのに対し、夫婦と子どもの世帯、その他の親族世帯は減少しており、世帯構造においても小規模世帯の割合が高くなっています。

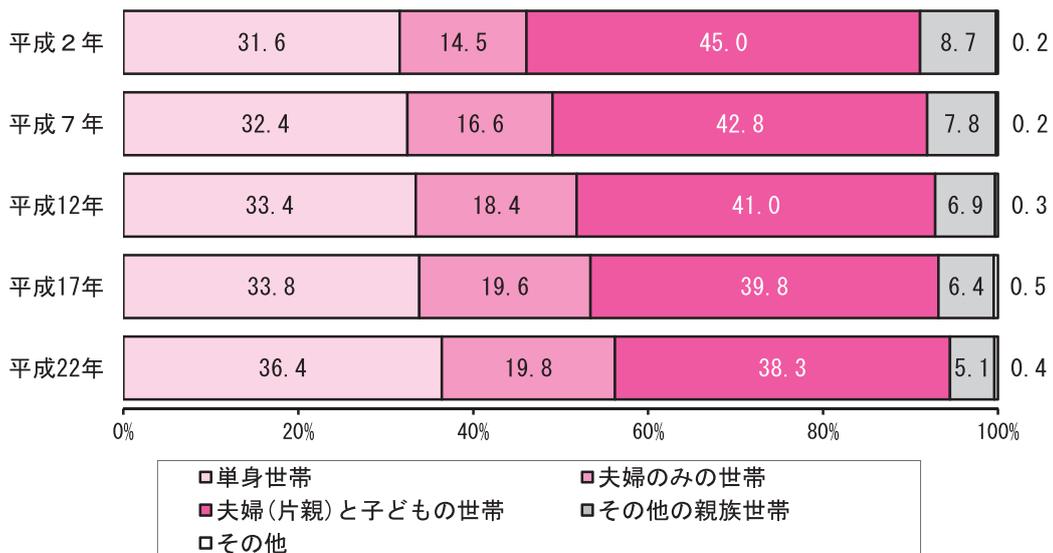
### ●世帯数と世帯人員の推移



各年10月1日現在

資料：平成17年までは国勢調査、平成20年は住民基本台帳（外国人含む）データ

### ●世帯構成の推移



資料：国勢調査

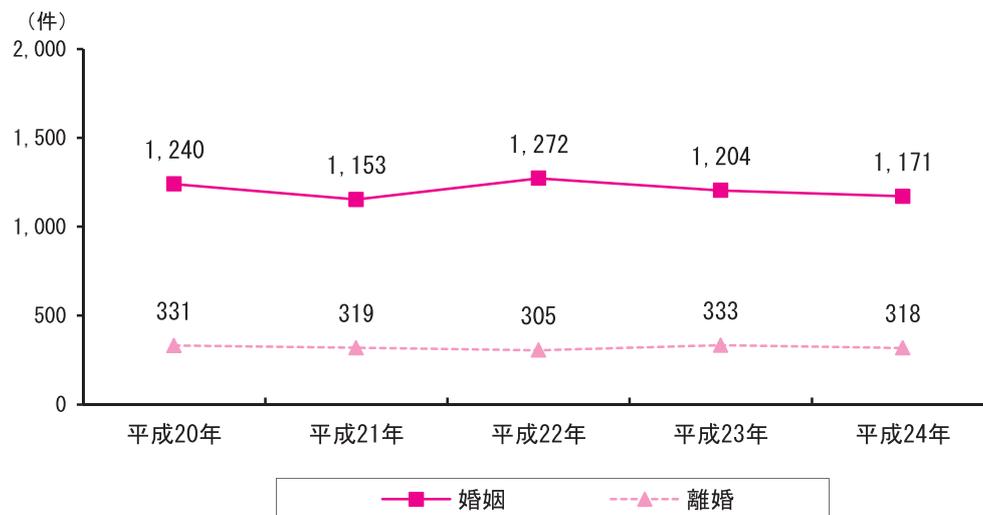
## 第2節 結婚・就業の動向

### 1. 婚姻・離婚の動向

結婚の動向をみると、平成24年（2012年）の婚姻数は1,171件、離婚数は318件で、婚姻数は平成22年（2010年）を境に減少傾向にある中、離婚数は横ばいとなっています。

未婚率は、各年代・男女とも年々上昇しています。平成22年（2010年）をみると、29歳までは男女ともに半数以上、35～39歳でも男性の3割、女性は2割以上が未婚者となっています。29歳までの年代は大阪府の平均を上回っており、本市の男女の未婚率は高くなっています。

#### ●婚姻・離婚数の推移



資料：市民生活部総合窓口課

#### ●男女別の未婚率の推移

(%)

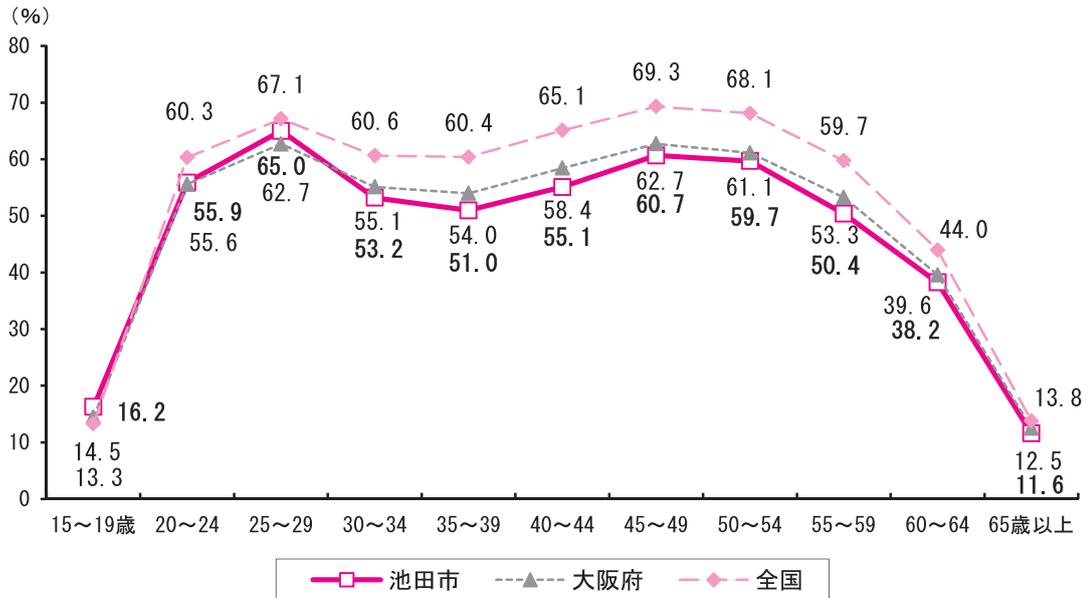
年	年齢 区分	15～19歳		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成2年	全国	98.5	98.2	92.2	85.0	64.4	40.2	32.6	13.9	19.0	7.5
	大阪府	97.6	97.3	91.2	84.8	63.2	42.1	31.9	15.9	19.7	9.1
	池田市	98.6	98.6	95.2	90.0	68.9	46.1	34.5	17.4	18.2	9.4
平成7年	全国	99.2	98.9	92.6	86.4	66.9	48.0	37.3	19.7	22.6	10.0
	大阪府	98.8	98.4	92.5	86.6	66.0	49.8	36.4	22.5	22.3	12.4
	池田市	99.4	99.3	95.7	89.9	72.1	54.0	38.3	25.9	22.6	12.8
平成12年	全国	92.9	87.9	92.9	87.9	69.3	54.0	42.9	26.6	25.7	13.8
	大阪府	93.3	88.9	93.3	88.9	69.1	55.2	42.0	29.1	24.5	16.2
	池田市	99.6	99.4	96.1	92.2	77.6	61.6	46.9	30.7	23.2	17.7
平成17年	全国	99.6	99.1	93.4	88.7	71.4	59.0	47.1	32.0	30.0	18.4
	大阪府	99.6	99.1	94.1	90.2	72.2	61.9	46.7	34.3	29.0	20.7
	池田市	99.8	99.6	97.1	93.7	77.2	66.5	50.0	36.8	29.8	21.0
平成22年	全国	99.0	98.9	91.4	87.8	69.2	58.9	46.0	33.9	34.8	22.7
	大阪府	98.7	98.4	90.8	87.6	68.7	61.4	45.6	36.8	34.6	25.3
	池田市	98.7	98.6	92.5	90.4	74.5	65.1	43.8	35.2	32.1	23.3

資料：国勢調査

## 2. 女性の就業率

女性の年齢別就業率をみると、25～29歳が最も高い就業率となっていますが、子育て期と思われる30歳代で就業率は低下し、子育てが落ち着く頃であると思われる40歳以降に就業率は再び上昇しています。しかし、30歳代以降は、全国及び大阪府の平均を下回っており、職場復帰しない女性が多く見受けられます。

● 年齢別女性就業率



資料：平成22年 国勢調査

### 第3節 教育・保育施設等の提供状況

#### 1. 認可保育所の状況

認可保育所は、平成26年（2014年）4月1日現在、なかよしこども園を入れて公立6か所、私立8か所の計14か所です。

入所児童数は、平成26年（2014年）は1,372人で増加傾向にあります。内訳をみると、公立は平成22年（2010年）の514人から、平成26年（2014年）は596人に増加しており、私立は平成22年（2010年）の711人から、平成26年（2014年）は776人に増加しています。

就学前児童全体に占める入所率は、平成22年（2010年）の22.5%から平成26年（2014年）には26.7%に上昇しており、就学前児童数が減少傾向にある中、保育ニーズは高まっています。保育所定員に対する在籍率をみると、平成26年（2014年）は108.9%で、弾力化運用や送迎ステーションの利用などにより受け入れています。

#### ●認可保育所数の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
保育所数（か所）	14	14	14	14	14
公立	6	6	6	6	6
私立	8	8	8	8	8

資料：幼児保育課

#### ●入所児童数の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
就学前児童数（人）	5,442	5,403	5,366	5,318	5,133	
公立	定員（人）	560	560	560	560	560
	入所児童数（人）	514	543	568	576	596
	入所率	9.4%	10.0%	10.6%	10.8%	11.6%
	在籍率	91.8%	97.0%	101.4%	102.9%	106.4%
私立	定員（人）	680	700	700	700	700
	入所児童数（人）	711	737	767	773	776
	入所率	13.1%	13.6%	14.3%	14.5%	15.1%
	在籍率	104.6%	105.3%	109.6%	110.4%	110.9%
合計	定員（人）	1,240	1,260	1,260	1,260	1,260
	入所児童数（人）	1,225	1,280	1,335	1,349	1,372
	入所率	22.5%	23.7%	24.9%	25.4%	26.7%
	在籍率	98.8%	101.6%	106.0%	107.1%	108.9%

※ 入所率＝入所児童数／就学前児童数、在籍率＝入所児童数／定員 各年4月1日現在 資料：幼児保育課

平成25年度（2013年度）末現在の特別保育事業等の状況をみると、乳児保育、低年齢児保育、延長保育、障がい児保育、一時保育、休日保育が市内保育所で実施されています。

また、地域における子育て支援として、地域子育て支援拠点事業、地域の子どもを対象にした地域開放、所庭開放も実施しています。

乳児保育は、生後57日目からの受け入れが12か所、生後6か月以上から1か所受け入れており、平成25年度（2013年度）は13か所で61人を保育し、低年齢児保育は14か所で492人を保育しています。

延長保育は、夕方の18:00～19:00まで、全保育所で実施しています。

障がい児保育は、平成25年度（2013年度）は13か所で実施しており、46人を受け入れています。

一時保育は、平成25年度（2013年度）は延1,100人が利用しています。

地域子育て支援拠点事業（センター型・ひろば型）は、現在4か所で実施しています。各地域の拠点として事業を展開すると共に、親のエンパワメントを促していくことにも力を入れています。

●特別保育等、その他子育て支援事業等の状況

		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度
乳児保育 (0歳児まで)	実施箇所数(か所)	13	13	13	13	13
	利用乳児数(人)	69	70	70	64	61
低年齢児保育 (1～2歳児)	実施箇所数(か所)	14	14	14	14	14
	利用乳児数(人)	439	448	472	493	492
延長保育	実施箇所数(か所)	14	14	14	14	14
障がい児保育	実施箇所数(か所)	6	9	11	13	13
	利用児童数(人)	29	31	36	49	46
一時保育 (認可保育所)	実施箇所数(か所)	8	5	10	10	10
	延利用児童数(人)	700	600	900	1,200	1,100
休日保育	実施箇所数(か所)	1	1	1	1	1
	延利用児童数(人)	298	230	282	351	307
地域子育て支援 拠点	設置箇所数(か所)	4	4	4	4	4
	利用数(組)	16,829	18,147	20,132	17,380	17,833

資料：子育て支援課・幼児保育課

また、保育所に通う児童だけでなく、家庭での保育児童も含めた地域の子どもたちのために、保育所を開放して、親子・子ども同士がふれあい交流できる機会を提供しています。

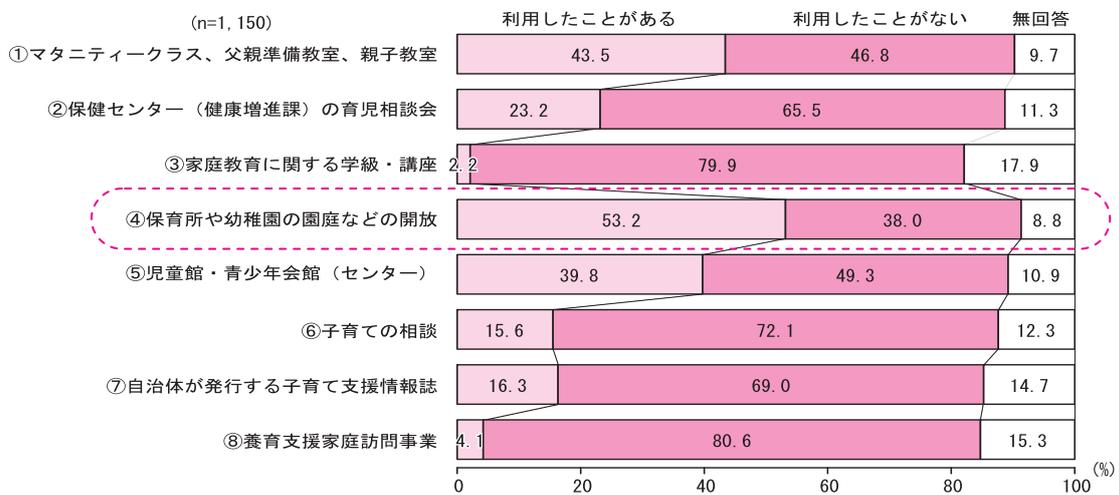
ニーズ調査の結果をみると、保育所や幼稚園の園庭開放を利用したことがある保護者は53.2%で、今後の利用意向も54.2%となっています。

認可保育所のほか、平成26年4月現在、本市の認定保育施設として荘園保育所、きらきら保育園、キッズハウスぞうさんで保育を行っています。

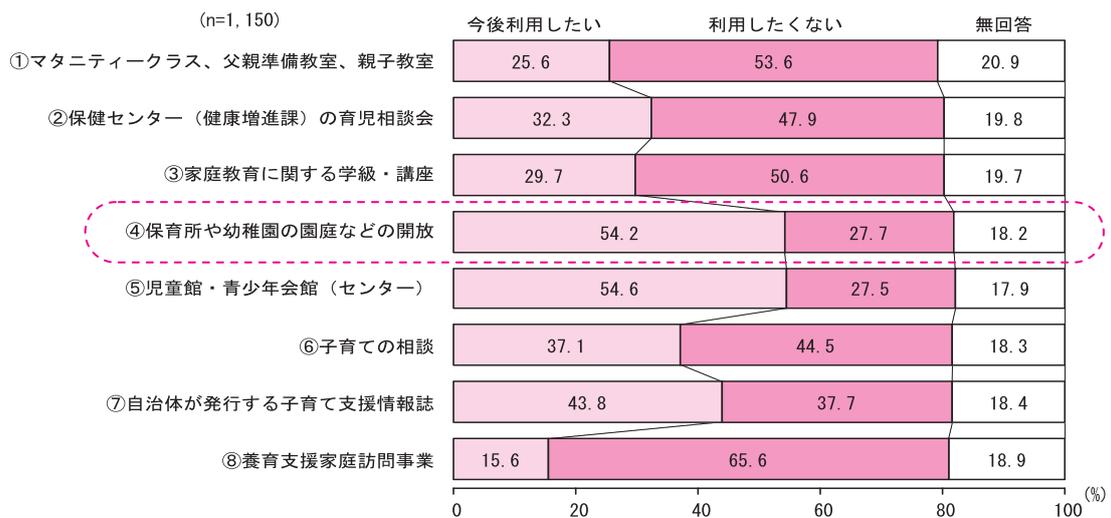
また、一時的・緊急的に保育する一時保育は、公立保育所3か所に加え、私立保育園や池田駅前ステーション“カルガモ”、ライオンズマンションの保育ステーション“もりもりKIDS”、石橋駅近くの“ポンポコキッズ”で保育を行っています。

●園庭開放の利用経験・利用意向（就学前児童）

〈利用経験〉



〈利用意向〉



資料：ニーズ調査

## 2. 幼稚園の状況

本市の幼稚園は、公立が2年保育、私立が3年保育で、平成26年度（2014年度）は、なかよしこども園を入れて公立4か所、私立8か所の計12か所となっています。在園児数は、ここ数年、公立は400人前後、私立は1,300人台で推移し、平成26年（2014年）5月1日現在、公立が359人、私立が1,336人となっています。

また、幼稚園における地域での子育て支援として、平成26年度（2014年度）現在、在園児を対象に教育時間以外の時間帯に延長する預かり保育を行っています。また、要配慮児を受け入れ、園での集団生活を通して成長・発達を促す特別支援教育を実施しています。

### ●幼稚園数と在園児数の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
設置数（か所）	12	12	12	12	12
公立	4	4	4	4	4
私立	8	8	8	8	8
定員（人）	2,150	2,135	2,135	2,135	2,165
公立	610	595	595	595	595
私立	1,540	1,540	1,540	1,540	1,570
在園児数（人）	1,763	1,767	1,771	1,762	1,695
公立	499	465	424	406	359
私立	1,264	1,302	1,347	1,356	1,336
入園率（％）	82.0	82.8	83.0	82.5	78.3
公立	81.8	78.2	71.3	68.2	60.3
私立	82.1	84.5	87.5	88.1	85.1

※入園率＝在園児数／定員

各年5月1日現在 資料：教育委員会

### ●子育て支援の状況

事業名	実施場所・実績
預かり保育	公立幼稚園4園、預かり時間18時まで 私立幼稚園8園、預かり時間19時まで
幼保交流	公立幼稚園・保育所で実施
特別支援教育	公立幼稚園4園 私立幼稚園8園で実施
地域交流	公立幼稚園4園で実施
園庭開放	公立幼稚園4園、私立幼稚園5園で実施
子育て講演会	公立幼稚園で実施。開催は不定期。事前に呼びかける。

平成26年5月1日現在 資料：教育委員会 各私立幼稚園

### 3. 放課後児童対策事業の状況

留守家庭児童会は、各小学校で開設しており、平成26年（2014年）5月1日現在、11か所で、在籍児童数は610人となっています。在籍児童数は減少傾向にあります。

ニーズ調査の結果では、共働き家庭の約1割が利用しています。

留守家庭児童会への要望として、利用時間の延長、指導内容の工夫等を求める声が多くあげられ、平成26年度より、利用時間を「17時まで」から「19時まで」に延長しました。

#### ●留守家庭児童会の状況

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
設置数（か所）	11	11	11	11	11
在籍児童数（人）	622	629	618	611	610
うち延長利用者	—	—	—	—	86

※対象学年は小学1年生から3年生まで。 各年5月1日現在  
ただし、障がい児は6年生まで。

資料：子育て支援課

## 第4節 教育・保育事業等に対するニーズ

### 1. ニーズ調査の実施概要

#### 〔1〕調査目的

「池田市子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎となる「幼児教育・保育・地域の子育て支援」の「量の見込み」設定に必要な「今後の利用希望」を把握するため、就学前の児童を養育する保護者を対象に「ニーズ調査」を実施しました。

#### 〔2〕調査対象および調査対象数

調査種別	調査対象	調査対象数
①就学前児童	0～5歳までの就学前の児童をもつ保護者	2,163世帯
②小学校児童	小学校1～6年生までの児童をもつ保護者	2,046世帯

#### 〔3〕調査方法

郵送で調査票を配付し、郵送（無記名）で回収しました。また、調査実施期間中に、督促状及び回答者へはお礼状はがきを送付しました。

#### 〔4〕調査期間

平成25年（2013年）11月21日（木）～12月25日（金）

#### 〔5〕回収結果

調査種別	配布数	有効回答数	有効回答率
①就学前児童	2,163	1,150	53.2%
②小学校児童	2,046	1,124	54.9%
合計	4,209	2,274	54.0%

#### 【調査結果を見る上での注意点】

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、比率の数値の合計が100.0%ちょうどにならない場合があります。
- 回答の比率は、その設問の回答者数（「n」と表示）を基数として算出しました。複数回答の設問は、全ての比率を合計すると、100.0%を超えることがあります。
- 各設問の図表上の「MA%」「2LA%」等との表記は、回答選択肢の中からあてはまるものを複数選択する場合（すべてに○、2つまで○等）を示しています。これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問です。

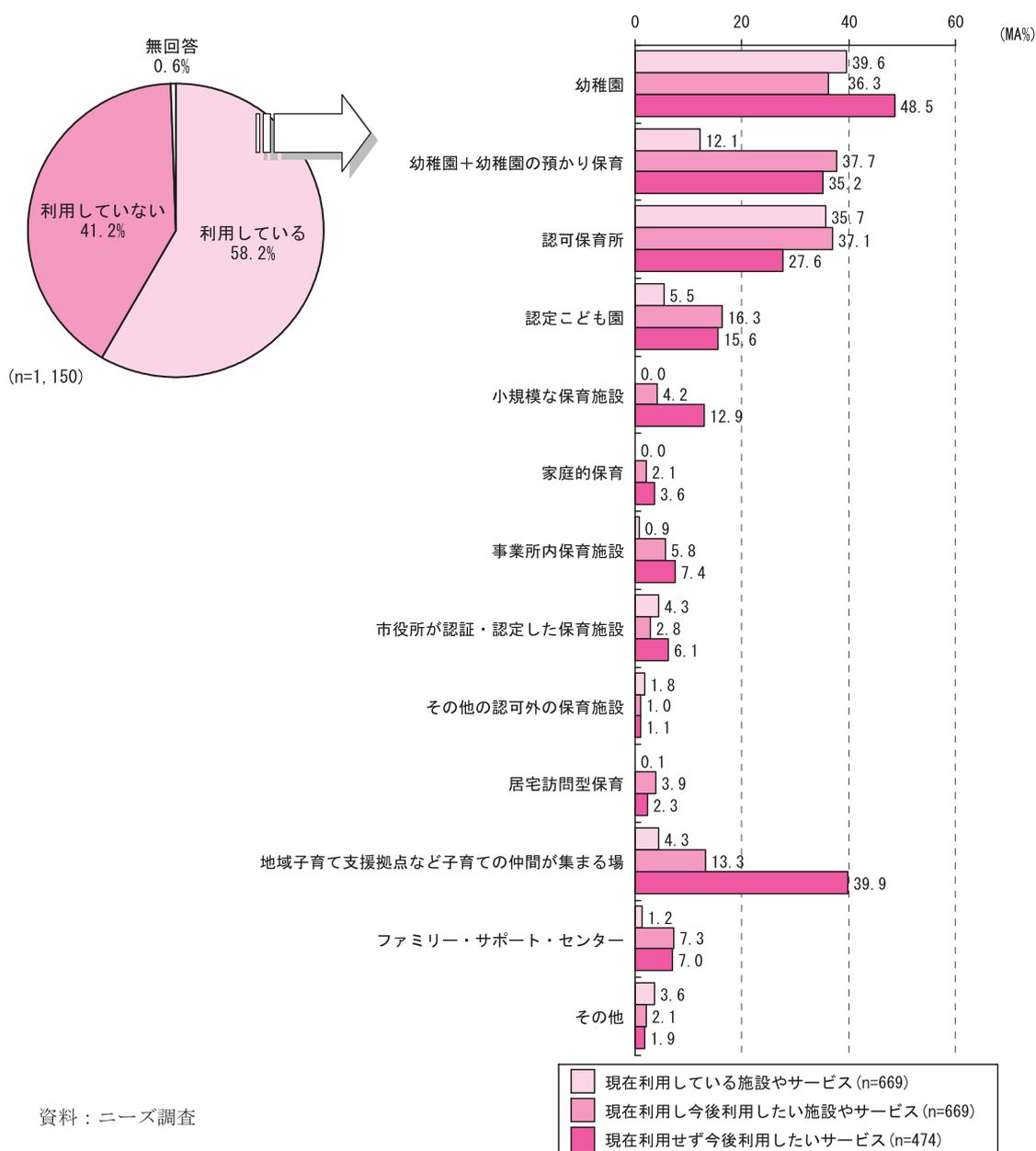
\*詳細については「次世代育成支援に関するニーズ等調査報告書」を参照してください。

## 2. ニーズ調査結果の概要

### 〔1〕 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と利用ニーズ

平日の定期的な教育・保育施設・サービスの利用割合は58.2%で、そのうち「幼稚園」が39.6%で最も多く、次いで「認可保育所」が35.7%となっています。一方、保護者が今後利用させたい教育・保育施設・サービスは、現在、施設・サービスを利用する保護者では「幼稚園+幼稚園の預かり保育」のニーズが高く（現状12.1%→37.7%）なっています。「認可保育所」（37.1%）、「幼稚園」（36.3%）のニーズは依然高くなっていますが、現状の利用割合から今後の利用希望の割合には大きな変化はみられません。これに対し、サービス未利用者の場合は、「幼稚園」が48.5%で、以下、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」（35.2%）、「認可保育所」（27.6%）の順でニーズが高くなっています。また、「地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場」（39.9%）は幼稚園に次いでニーズが高くなっています。

#### ● 平日の定期的な教育・保育事業の利用割合とサービス種類ごとの利用ニーズ

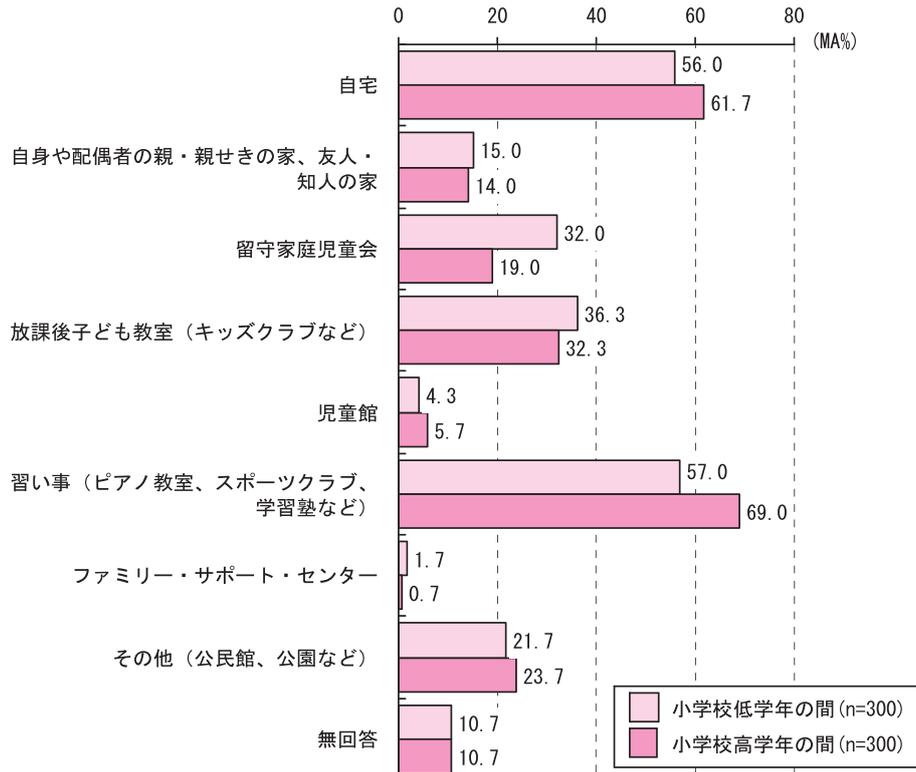


## 〔2〕地域子ども・子育て支援事業の利用状況・利用ニーズ

### （1）放課後児童健全育成事業

5歳以上の子どもをもつ保護者が望む、就学後の子どもの平日の放課後の過ごし場所として、「留守家庭児童会」を選択した割合は、小学校低学年の間が32.0%となっています。高学年の間の「留守家庭児童会」の希望割合は19.0%で、高学年になると留守家庭児童会の利用希望は減り、「習い事」の割合が高くなっています。

#### ●留守家庭児童会の利用ニーズ



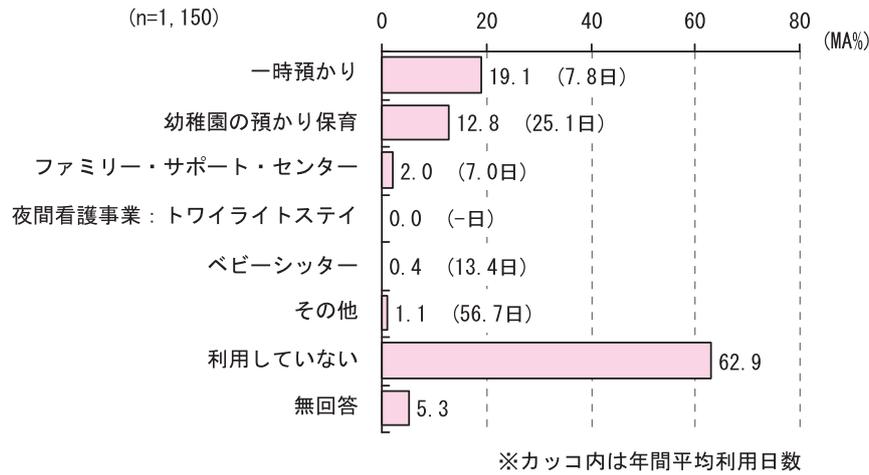
資料：ニーズ調査

(2) 一時預かり事業

① 利用状況

用事や不規則な仕事等を理由として保護者が利用しているサービスは、「一時預かり」(19.1%)が最も多くなっていますが、平均利用日数では「幼稚園の預かり保育」(25.1日)が多くなっています。

●一時預かりの利用状況

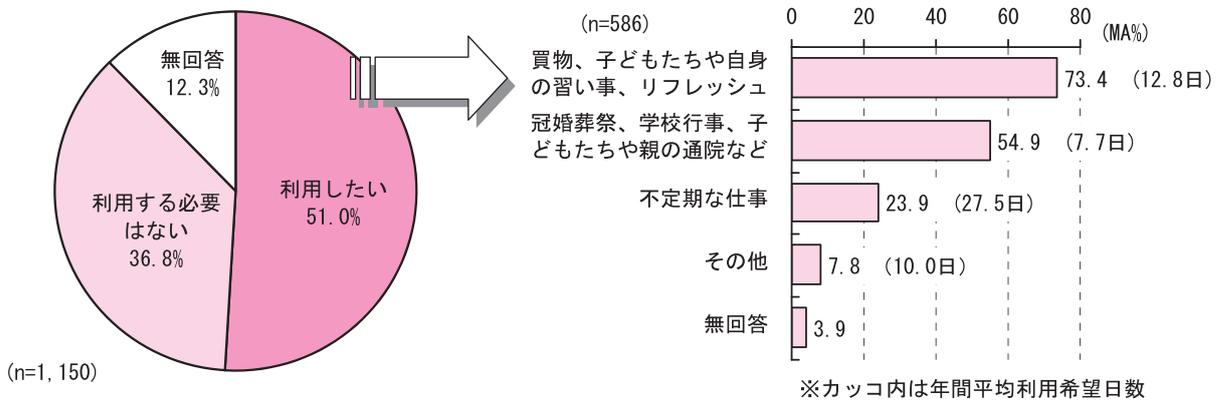


資料：ニーズ調査

② 利用希望

一時預かりの利用希望は全体の51.0%となっています。主に「買物、子どもたちや自身の習い事、リフレッシュ」目的での利用希望率が高くなっていますが、平均利用希望日数では、「不規則な仕事」での利用の見込みが多くなっています。

●一時預かりの利用希望率と利用目的



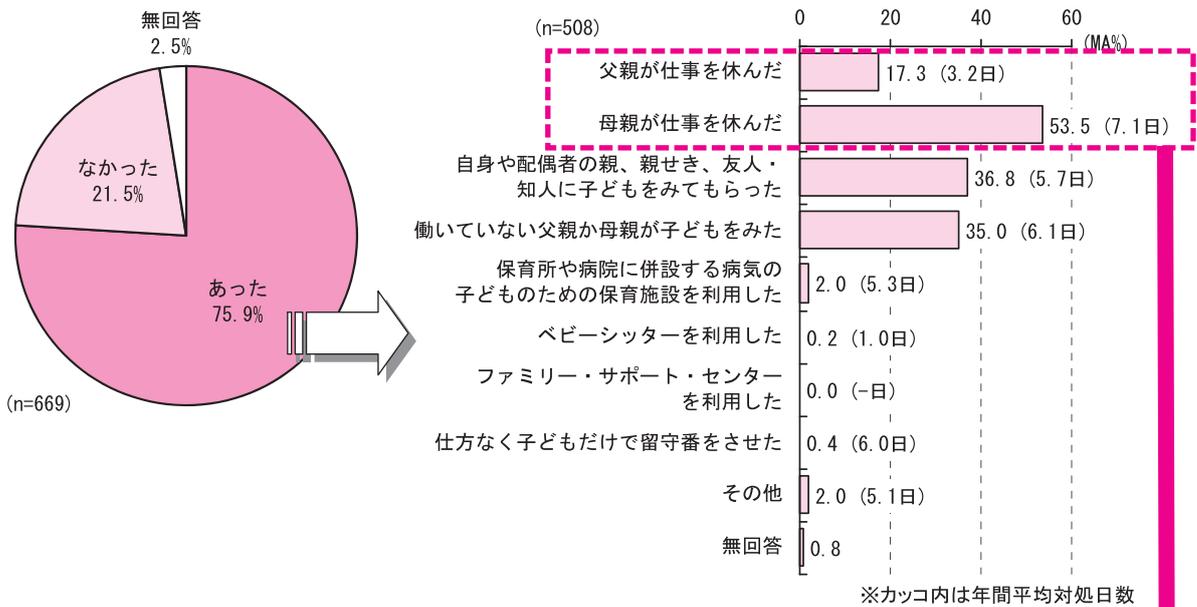
資料：ニーズ調査

(3) 病児・病後児保育事業（平日の定期的な教育・保育事業利用者のみ）

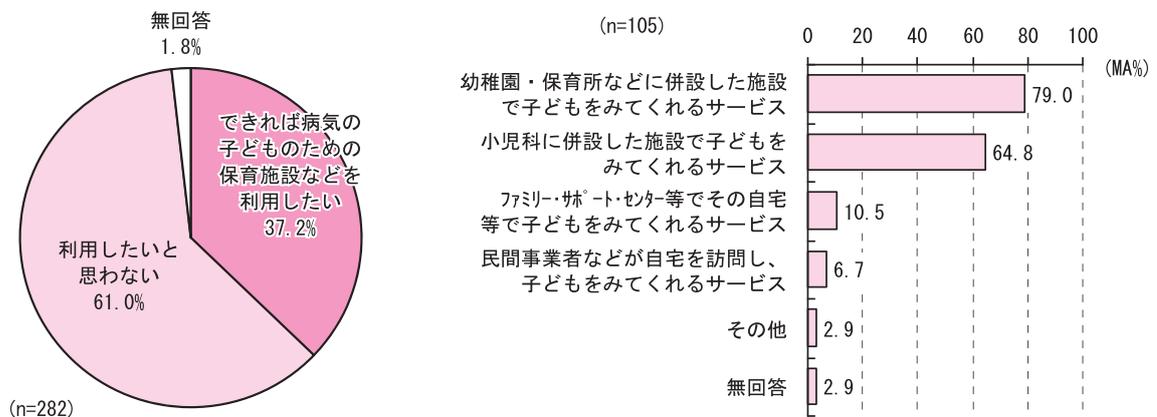
教育・保育施設・サービスを利用している保護者の75.9%は、子どもが病気等の理由で施設・サービスを利用できなかったと回答し、そのうち、半数（53.5%）の母親が年間7.1日程度（平均）仕事を休んで対処しています。一方、父親が仕事を休んで対処した割合は17.3%、平均3.2日と、母親が休んで対処する場が多くなっています。

また、父親もしくは母親が休んで対処した延べ約7割のうち、37.2%は病児・病後児施設を利用したいと回答しています。

●子どもが病気等で通常の教育・保育事業が利用できなかった経験の有無と対処方法



●仕事を休んで対処した母親・父親の病児・病後児保育施設の利用希望



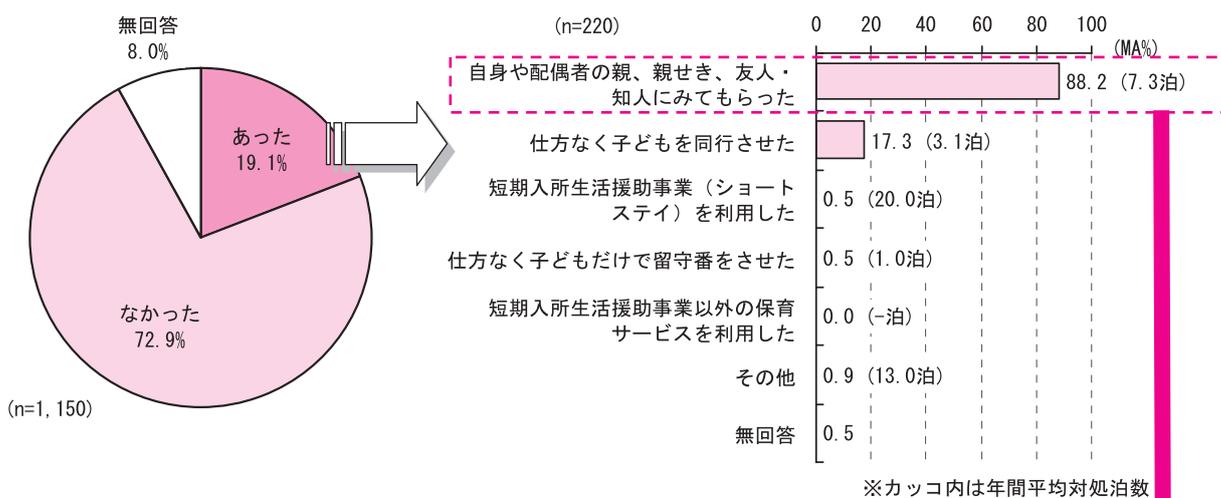
資料：ニーズ調査

(4) 子育て短期支援事業

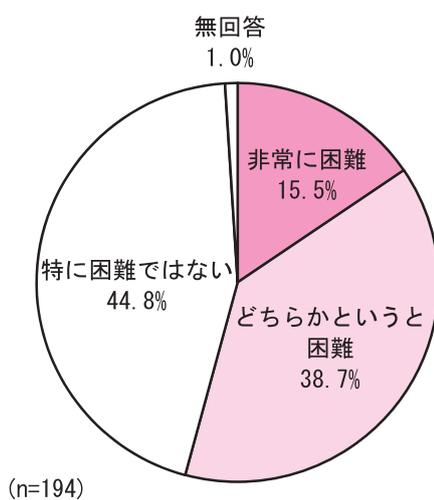
冠婚葬祭や病気などの保護者の用事のため、子どもを泊まりがけで家族以外の人に預けて対処した割合は全体の19.1%で、そのうち88.2%が親や親せき、友人・知人等（同居者含む）に、年間平均7.3泊預けられています。

親や親せき、友人・知人等（同居者含む）に預けてみてもらうことに困難を感じる回答者が54.2%となっています。

●保護者の用事で、泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無と対処方法



●仕事を休んで対処した母親・父親の子育て短期支援事業の利用希望



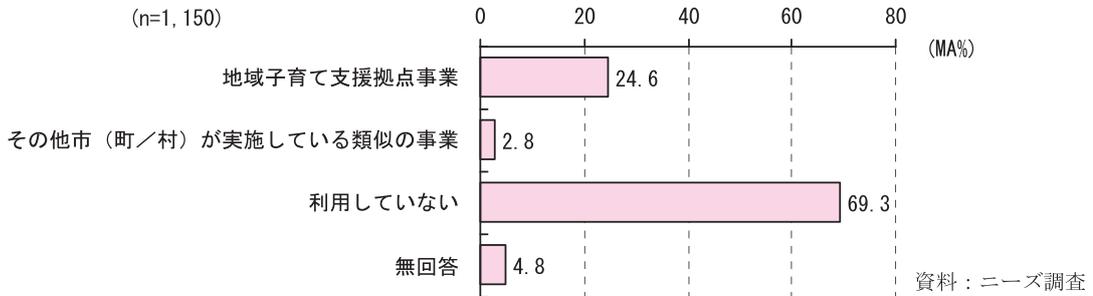
資料：ニーズ調査

(5) 地域子育て支援拠点事業

① 利用状況

本市が実施する地域子育て支援拠点事業の利用者は全体の24.6%に対し、未利用者は69.3%で、未利用者の割合のほうが高くなっています。

●地域子育て支援拠点の利用状況

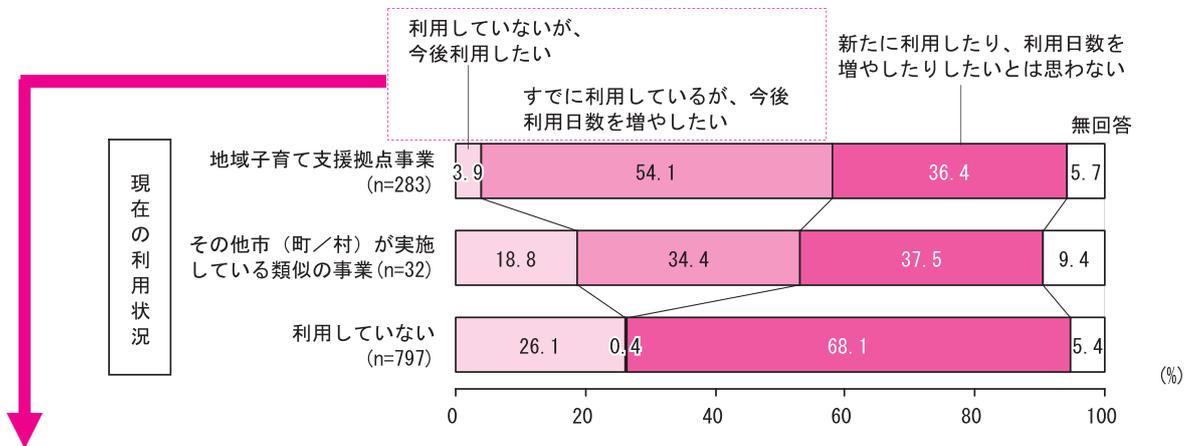


② 利用希望

現在、市の地域子育て支援拠点事業利用者のうち、利用希望がある割合は58.0%で、現在、未利用者の利用希望は26.1%となっています。

利用希望者においてニーズの高いサービスは「常設の子育て親子の交流の場・遊び場の提供」(85.9%)です。

●地域子育て支援拠点の利用希望



●利用希望があるサービス

